

国立台湾師範大学  
月例報告書（11月）



## はじめに

こんにちは。台湾の冬も比較的寒く、上着を着なければいけない時期となりました。中には半袖で外を歩く人も見かけますが、ちゃんと寒いです。台北は毎日、雨だと聞いていましたが、晴れの日が多くラッキーだなと思います。

## 食事

台湾の生活を通して、だんだんと台湾での自分の好きなものがわかってきたので3つに絞って紹介したいと思います。個人の性格として、一度気に入るととことん同じものを食べてしまうので今から紹介するのを頻繁に食べています。

### 小籠包

これは観光客にも人気で台湾を代表するような食べ物です。多くの人がご存知だと思います。値段は比較的高い部類には入りますが、それを忘れさせてくれるくらいの魅力を持っています。一度口にすると溢れ出す肉汁がポイントです！

### 魯肉飯

これも台湾を代表する食べ物です。値段は比較的、安価で初めて食べる人からすると少し八角を感じやすい食べ物かもしれません。私が思う魯肉飯の魅力は店舗の個性が出やすいことです。店舗によって、絶妙に味が違うので同じ魯肉飯でもさまざまな味を楽しめると思います。

### 饅頭

これは中国北部の伝統的な食べ物らしく、系統としては肉まんに近い感覚です。大学の近くの大通りがあるので、いつも買ってしまいます。食感がふんわりしていて食べ心地が良いです。いつも食べ過ぎてお腹を壊すのですがそれでも食べ過ぎてしまうくらい気に入ってます。



## 日台交流会

台湾師範大学に正規留学している日本人が主催している日台交流会に参加しました。そこには、日本に興味がある台湾人が多く参加していて、その実力には驚かされました。やはり、日本のゲームやアニメなどの影響で真剣に日本語を勉強する人が多いそうです。一番すごいなと思った子は小学生くらいからもう軽く勉強したことがあったそう！

## 授業について

最近Borders, Power, and Culture in Taiwanという授業に関心を持っています。台湾に来る前は台湾独自の歴史についてあまり詳しくなかったのですが、この授業では228事件、白色テロなどの台湾の歴史的な事件について詳しく学べて面白いと感じます。先生は日本人なのですが、英語で授業が行われていて、先生の発音の綺麗さには驚かされます。

11月にこの授業で白色テロで亡くなった人たちのお墓に行きました。実際に歴史的な場所に行くと昔本当にそういった事件があったのだとすごく現実味が増して歴史を学ぶ意義的なことを感じました。また、その授業で仲良くなった台湾人が日本語上手過ぎてまた、驚かされました。

## 余談

クリスマスが近くなってきて周辺がライトアップされてきました。すごく見応えがあつてこの景色を見ながら飲むタピオカは最高でした。ちなみに、普段タピオカを注文する時、一番甘いのをよく頼んでるのを台湾人に伝えたらみんな口を揃えて病気になるよ本当に日本人なのかと言うので飲み過ぎには気をつけようと思います。



## 基隆旅行

台北の東にある基隆という街にお出かけに行きました。どう説明したら良いかわかりませんが台北とは雰囲気違って日常から離れた気分になりました。この街は雨の町と言われていて一年の大半、話によると360日くらい雨らしいのですが、たまたま晴れていてよかったです。ちなみに友達がこの前行った時も晴れていたようで実際はどうなのか住んでる人にしかわかりません



## TSMC

台湾のいちばん大きい会社であるTSMCを見学しに行きました。日本でいうトヨタのような立ち位置です。世界最大の半導体受託製造会社で世界時価総額のランキングが10位とかなり上位にある会社です。上位の会社はほとんどアメリカが独占してるのでかなり大きい会社です。

ここを見学してみて世界の技術がいかに凄いか体験することができました。特に液晶の進化には驚きました。ここ何十年かでおどろく速度で進化していて未来の進化も期待できて楽しみになりました。説明が難しいですが、近未来を感じました。

## 終わりに

今月で語学学校 (MTC) が終わりました。個人的にいちばん好きな活動で、メンバーも仲が良かったので、とても寂しいです。また、もう少しで半年留学の子達が帰ってしまうので最後の1ヶ月特にその子達との日々を大切にしようと思います。